

様式 4

令和 7 年度 学校運営協議会評価報告書 1

鳥取県立米子高等学校

校長 永江 靖幸

評 価 日	令和 7 年 6 月 1 0 日 (火)
評 価・提 言	学校の所見・改善策
1 目標設定について ・特に意見なし。 2 評価項目と目標達成のための取組について ・特に意見なし。 3 具体目標について 「評価項目 1 確かな学力の育成」 ・ 1 日 2 時間の家庭学習時間という目標は妥当か。部活動の時間や帰りのバスの時刻などを考えると長いのではないか。 ・スタディサプリの利用を指標化するとは具体的にどういうことか。ICT の利活用が当たり前となっており、動画を倍速で視聴する人も多い。時間だけでなく、効果的に使えているかどうか多角的な指標が必要。 「評価項目 2 豊かな人間性の育成」 ・ヘルメット着用率目標 70%、現状 50%というのは妥当な数字か。他校とも連携した取組が必要。 4 目標達成のための具体方策について 「評価項目 1 確かな学力の育成」 ・スタディサプリの活用について、授業と両立できるような形を作れば活用が進むのではないか。 5 その他 「評価項目 4 地域との連携による学校づくり」 ・取り扱いが大変なマスコットキャラクターだけでなく、米子高校の名を記したバックボードを作成して活用してはどうか。	・スタディサプリの導入 2 年目で、今後の活用を進めていくために 2 時間に設定した。今後、実績と照らしながら検討したい。 ・動画視聴の活用率を上げることを目指しており、課題配信などで活用した個人別視聴時間の記録を指標とする。多角的な指標についてはもっともで、今後検討したい。 ・先日の立ち番の際の感覚では実際の着用率は 35% ほど。他校と連携して情報共有したり、保護者に呼びかけたりして指導を強化したい。 ・現在は授業と切り離した活用にとどまっているので、検討したい。 ・本校は CG デザインなどの設備も充実しているので、それらを用いて作成し、学校の PR に活用したい。